

元中だより

富士市立元吉原中学校
学校だより 第11号
令和8年3月25日



言葉にしなくても気持ちがわかる仲間49名と旅立ち 卒業式

前夜からの雨が上がった19日午前、卒業証書授与式が厳かに行われました。担任からの最後の呼名に、大きな返事をする卒業生。校長より卒業生一人一人に卒業証書が手渡されました。その後は校長式辞、在校生代表の送辞、卒業生代表の答辞と続きました。記念合唱は、「正解」が披露され、歌が進むにつれ、卒業生や保護者、教職員の胸に、3年間の思い出が次から次へと湧き上がり、あちらこちらで涙をぬぐう姿が見られました。

当日は富士ニュース社の取材が入り、3/20発行号に掲載されました。

校長式辞(抜粋)

忘れないでほしいことは、自分達の幸せが誰かの苦悩の上に成立していないか注意深く見つめることをしてください。そして、正しい判断をするためには、幾つになっても学び続けることをしてください。困っている誰かに心を寄せ、よりよい方法を模索し、誰かと力を合わせて行動する人であってほしい。学校教育目標の“人として熱く優しくたくましく”を心のどこかで胸に刻んで進んでほしい。卒業生49名が旅立つとき、私たちは笑顔で見送ります。よい人生を。さようなら。



在校生代表送辞 2年中村さんより(抜粋)

どの場面においても、先頭に立ち、私たちの手を引いてくださった先輩方の姿は、私たちにとって夜空に大きく輝く星のような存在でした。一緒に過ごしたこの2年間を振り返ると、先輩方の努力や優しさに憧れ、導かれながら私たちは歩んできたように思います。そんな先輩方の新たな門出を、在校生一同、心よりお祝い申し上げます。



卒業生代表答辞 卒業生 堀内さんより(抜粋)

小学校のころからずっと同じ仲間と共に過ごしてきました。嬉しいことがあれば一緒に笑い、悔しいことがあれば同じように落ち込み、言葉にしなくても気持ちがわかる仲間がいつもそばにいました。私たちは小さな学校で、大きな絆を育ててきた「特別な」仲間です。同じ場所で同じ時間を過ごした私達は、もう「ただの同級生」ではなく、人生の大切な時間を共に駆け抜けた「伴走者」です。

この学校で過ごした私たちの時間は、決して小さい思い出ではありません。むしろ、これから先の人生を支えてくれるとても大きな宝物です。いつか大人になった私たちが、それぞれの場所で、「同じ富士山を見ながら育った仲間がいる。」そう思えることを誇りに、私たちは前へ進んでいきます。

先輩との別れを笑顔のイベントとした生徒会退会式

17日(火)に生徒会本部と2年学年委員会の共催で行われました。全生徒がジャージ姿で、ミニ潮音祭体育の部として2競技を行いました。男子の競歩リレーは10月の総練習が雨天となり、体育館にてリレーを競歩で行った際に盛り上がり、今回再登場となりました。女子はミニだるまさん運びです。こちらは室内用として、だるまに見立てたボールをテニスラケットに載せ、障害物を越えます。どちらの競技も白熱し、声援が自然に上がりました。競技内容がわかりやすく見ていてもとてもおもしろいく盛り上がりました。

ミニ潮音祭後は、1・2年生代表の吉田さんによる感謝の言葉と合唱曲「サザンカ」の披露です。お返しに3年生からは、長橋さんによるお礼の言葉と合唱「遙か」のプレゼントがありました。こちらも富士ニュース社の取材が入り、3/19発行号に掲載されました。



競歩リレー



ミニだるまさん運び

1・2年生代表 吉田さん 私は先輩方のおかげで、部活動では金賞をとることができ、縦割りでは何をすべきかわかりやすく教えてくれました。その優しさがとてもうれしかったです。来年度、私達はそれぞれ最上級生や先輩となります。3年生の皆さんと同じように、新1年生にしっかりと伝える先輩になりたいです。ありがとうございました。

3年生代表 長橋さん 私が勉強も部活動も頑張れたのは、たくさんの人に支えてもらったおかげです。1人では乗り越えられなかったけど、周りのたくさんの人に何度も支えられ、励まされたおかげでここまで頑張れました。

私たちが卒業すると、1年生は初めての先輩、2年生は最高学年となり、みんなのお手本となります。不安な気持ちも多いと思いますが、周りを見れば優しく励ましてくれる先生や友人がいます。みんなは一人じゃないから、たくさんの挑戦にもきっと立ち向かえます。お互いを支え合って日々励んでください。

1・2年生は修了式で今年のまとめと来年への抱負を披露しました（中略）

1年生代表 渡井さん 自分達で行動する力、考える力などがついてきたと感じています。3分前学習や移動教室の呼び掛けと言われる前に行動できるようになりました。先輩になると自分たちのことだけでなく、もっと周りのことを考える力が必要です。私たちも後輩から信頼される先輩になり、周りのこと、先のことをしっかり考えた行動ができるようになりたいです。

2年生代表 森さん 私が身につけた力は、周りに気を配る力、協力し合う力、目的や目標を持ち行動する力です。（中略）1年を通してこの3つ以外にもたくさん成長したことがあります。課題もあります。私たちは来年度から3年生で受験生です。しかし、学習に対する意識がまだまだです。この課題を解決できるように受験生として来年度より一層努力していきます。

最後の表彰集会

卒業式2日前に今年度最後の表彰集会を実施しました。主な表彰は以下の通りです。

市社会を明るくする運動 推進委員長賞(第1席) 3年北澄さん、同教育長賞 3年高部さん
市子ども環境作文佳作 1年河西さん、富士山への手紙佳作 1年バレンティナさん
富士地区児童生徒教育美術展地区優秀賞 1年渡井さん、同入選8名、文集ふもと賞 22名
県書き初めコンクール優秀賞 2年濱田さん、校内多読賞 最多は149冊 1年鈴木さん、他28名
市食育弁当コンテスト地産地消部門特別賞 2年土屋さん、県新体力テスト優秀賞 3年小貫さん
剣道二段 2年中村さん 同初段 1年杉山さん・長橋さん



元吉原中 News

3/1 ふれあい配食ボランティア

元吉原福祉推進会の依頼で、一人暮らしのお年寄りの元にお弁当をお届けするボランティアを行いました。民生委員さんと共に自分の居住区を中心に届けました。どの訪問先でも目を細めて中学生から受け取っていただき、感謝の言葉をいただきました。



3年生による感謝の奉仕活動

卒業式を翌週に控え、お世話になった校舎の清掃を行いました。普段は手が回らない場所も念入りに取り組み、とてもきれいになりました。数年分のごみを片付けた箇所もありました。作業中も思い出話に花を咲かせながら楽しそうに清掃を行っていました。



3/4 新年度前期生徒会役員選挙実施

昼休み中の個人演説に加え、投票日には、全候補者による公開討論会が行われました。各候補者は自身の目指す生徒会活動の公約や方針を訴えました。

候補者や選挙管理委員の熱意が伝わり、今回の選挙では無効票が一票もなく、クリーンな選挙が実施されました。



3/17 卒業式を前に、三角柱と校章の整備

塗料の劣化やさびが浮いていた玄関前の校章と懸垂幕用の三角柱を整備しました。校章は“元”と“中”が色鮮やかに浮き上がって見えるようになりました。



新制服の展示が始まりました

制服検討委員会によって、令和9年度からの新制服が決定し、展示が始まりました。柄の選択には小中学生や保護者、地域の方にご協力いただきました。感謝申し上げます。また、小中学生から公募したエンブレムも、“富士山”、元吉原の“元”、校歌の“はえわたる波”と若い命が明るく燃えるを示した“輝き”を図案化したものとなりました。



来年度も元吉原中をよろしくお願ひします

今年度も元中だよりをお読みいただきありがとうございます。次年度も引き続き校内のできごとを発信していきます。よろしくお願ひします。